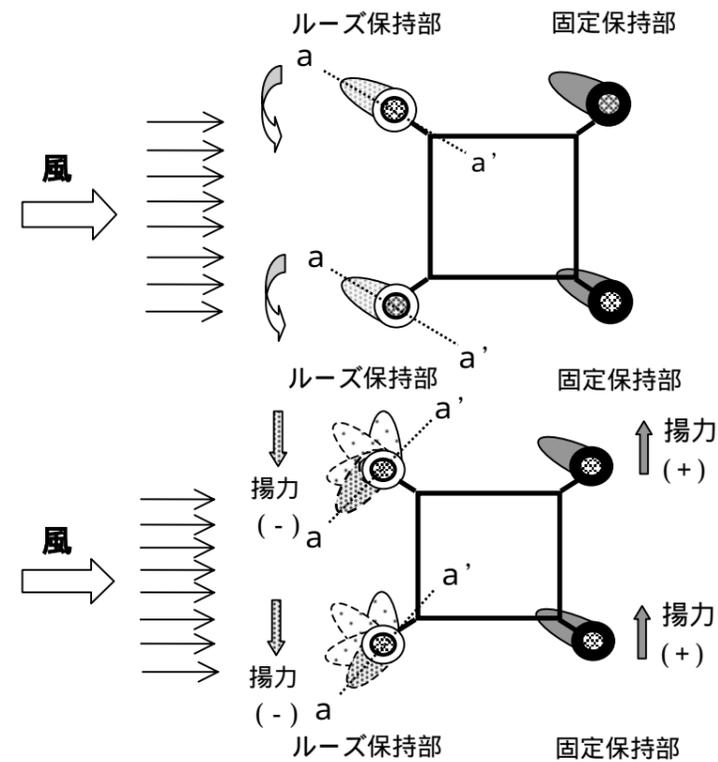


ルーズスペーサ



写真の左側電線保持部が自由に可動することにより、揚力特性が変化し、ギャロッピングを抑制する。

冬期主風向の風上側に、ルーズ保持部を設置

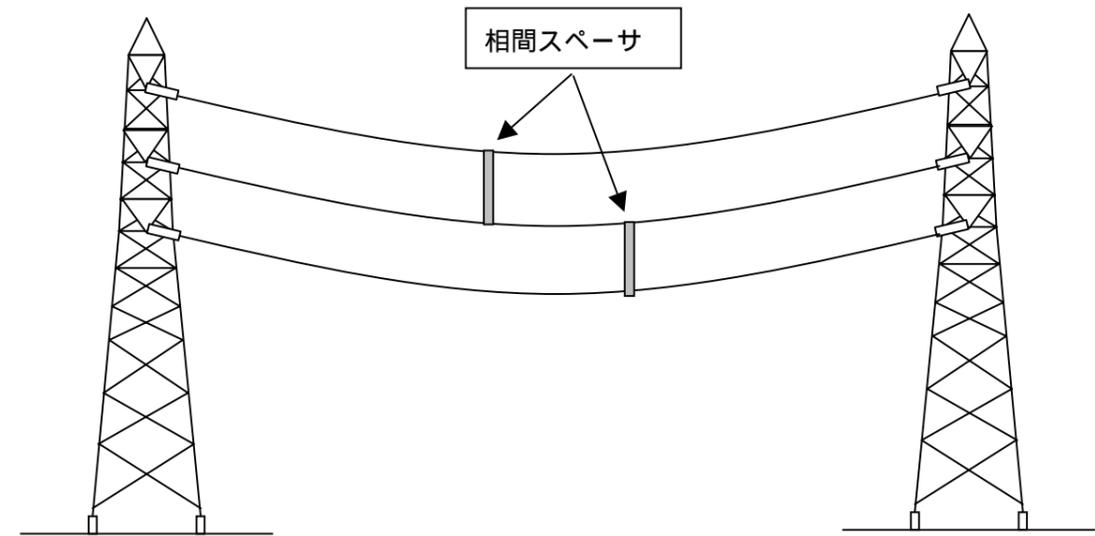


ルーズ保持部で保持している電線が偏心荷重により下方へ捻れる

風の迎え角が変化することにより、揚力特性が変化してギャロッピングを抑制

- 凡例
- : 固定端部
 - : ルーズ保持部
 - ⊙ : 電線
 - ▲ : 着雪 (固定側)
 - ⊙ : 着雪 (ルーズ側)

相間スペーサ



- ・ 相間スペーサの取付け点で径間長を区切る (節を作る) ことで等価的に径間長を短縮し振動を抑制する。
- ・ 相間スペーサを取付けることにより、各相の振動は相間スペーサを介して他相に伝達され、電線を相互に干渉させ位相を乱すことにより振動を抑制する。